

新型コロナウイルス感染症に関する対応について
大会開催にあたっての注意事項

1 大会を開催するにあたっての対策及び注意事項

- (1) 大会が開催される場所の適切な感染予防対策の実施
- (2) 密閉空間・密集場所・密接場面等の感染リスクが高い状況の回避
- (3) 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

以上3つのリスクへの対応が整わない場合は、大会の中止又は延期をしていただく必要があると考えます。また仮にこうした対策を行っていても、その時点で感染の状況に応じて（オーバーシュートの発生や県内の感染拡大など）、大会の急な中止又は延期等の対応を高体連事務局からお願いすることがあります。

【集団感染のリスクへの対応】

「新型コロナウイルス感染症対策の状況判断・提言」（専門家会議3/19）において公表された教育活動再開の考え方にに基づき、国が示した学校再開ガイドライン（3/24）で集団感染の共通する3つの条件が示され、（3つの条件）が同時に重なる場を徹底的に避けることが重要である。

- ①換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底
- ②多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮
- ③近距離での会話や大声での発生をできるだけ控える

2 大会中の感染防止具体的対策

(1) 基本的な感染症対策

- ①競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用の推奨）などの基本的な感染症対策を徹底するよう指導する。特に、会場出入口にはアルコール消毒薬を設置し、トイレに石鹸等を準備する。
- ②競技中の水分補給に関してはチーム共用を避け、個人のものを使用する。
- ③引率者は、試合前に選手の健康状況（含む検温状況）を確認し、体調不良の選手については保護者及び学校管理職に連絡の上参加させないようにする。選手の健康状況については、引率者から専門委員長に報告し、専門委員長は大会運営に支障がある場合にはその結果を各ブロック理事長に報告する。
(県大会の場合は理事長に報告する)
- ④競技における適切な環境の保持のため、会場内の換気（できれば2方向の窓を同時に開ける）の徹底。空調や衣服による温度調節を含めて、温度、湿度管理に努める。
- ⑤人が集まる場所では1～2メートル程度あけるなどして、人の密度を減らす。
- ⑥全競技において、入場制限（無観客試合）を行う。会場内への出入りは試合当日に出場する選手及びマネージャー、顧問、引率者、役員、審判のみとし、競技終了後生徒はすみやかに退出し帰宅させる。
- ⑦開閉会式は行わない。
- ⑧共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。
- ⑨握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触を避け、近距離での会話や発声はしないこと。

応援は拍手のみで行う。

(2) 当日、生徒に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応

①発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。(各学校で指示しておくこと。)

②当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。

③他の選手等への健康観察を徹底する。

※その後、コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関指示に従うこと。その経過等については、ブロック理事長を通じて高体連に報告すること。県教育委員会と合議のうえ、その後の大会運営について中止、または延期をお願いすることがある。

3 大会運営に係る会議等について

(1) 年度始めに実施している顧問会議については、感染拡大の防止という観点から可能な限り、会議を中止し、文書での連絡を行う。どうしても実施の必要がある場合はブロック理事長と合議し短時間で行う。(各種の県主催の会議が中止になっている現状から)

4 大会参加申込について

(1) 顧問は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書を取り、校長責任のもと申し込みを行う。

同意書は各学校で保管すること。

(2) 大会参加を強要することがないように配慮すること。